(-)

國民會議開會云

へ上しは開會式における

大きた勢力である文殿派(勢闘戦)の脱渡後と部の動揺を載けて立て東京。電十一日襲」左原文堂の「網索職」として中林たい子女史

左翼文壇指導艦はナツブに

南京特體十一日藝、夏平寅、咸

段氏を時間と、 るが張氏が北方。 段氏を時間と、 るが張氏が北方。

全に江西の劉興軍から一部に割い

つたこさを照りゴ

李宗仁氏の

張氏や近く忠告通電

力針及び實行方法調査

見の野立旅客は地度に既はれた

果練田潔吉氏等は最近支戦脱退の

意志た闘め十一日交戦本部におけ

文院派の最高幹部郷田民樹氏も事さなったがこの動揺の影響の

る政治討論會席上

は 一派さは別行動 脱速の肚を 配一派さは別行動 脱速の肚を

廣東の反蔣運動

日

学校

細田氏等脱退し

叉戰派潰滅

の減俸を斷行 各本格人行動 二龍口山 人類與 起大庄子山 人副印 地译—州阿爾金原市进大 世報日制藥社會武建 所行

的代語も鞭

美加容領点を

七〇九九章 草涅洋

汪兆銘の

全休高

減俸率は五分から t 割

至一則二分の減率を断行せんさするものでありその方法さしては緊急率を現て上級者整理調査會に抵出する事さなつた。その大勢は艱餓、粮餓、粮餓、粮餓、稅餓稅節の機緣に難し五分乃の大麻な決定したので迎木餓椒、心臟書記節長の手酔において應緊を假感、近く新悲せらるべき得政、東京特電十一日襲』行政整理準備委員會は態々官吏の減機隊行すべく去る九日の委員會においてそ、東京特電十一日襲』行政整理準備委員會は態々官吏の減機隊行すべく去る九日の委員會においてそ に對しては最高率を誤し倭給總額において約千五百萬圓の節約を含さ主一割二分の減俸を斷行せんさするものでありそのが践さしては累懲罪を現て上級者 關係について調査を開始した 下は九分から五分までの率にて滅解する極線である。なほ人最終準も賦行する事さなり既に内るものであつて大陸から見て月線二百圓以上のものは一割二分、百圓から二百圓までは一割、

司法官が 極力反對

貴族院公正會でも反對

根常湾频な反野意見起り全國的に「民子教鞭甚大なるべく教育が、財一多数の反対意見解唆の物勢に在るとしてあるが早くし記憶の間に「松行政館の反流を買ひ思想解に及「漁属問題さ共に本問題に對し合内を製に基づき管吏 演像な 節行せん 「放作問題は一歩その歌を避れば一」正會は十一日の總會において黙勝の概本問題さして準備委員會の基一等つたが有に関し貴院管派間でも「して頗る成行を前視してゐる、公の概本問題さして準備委員會の基一等つたが有に関し貴院管派間でも「して頗る成行を前視してゐる、公の概本問題さして準備委員會の基

植民地一行政整

一、一部の師順は大機現在の編制 國際融和に貢献 國際會議所總督の成果

各務日本代表語る

滿無竹中經理部次長は十一日午前

けふ關東廳訪同

竹中經理次長

【ワシントン九日養】國際酸聚會議所第六回標回の成果につき日本代表各務職総社長は九日左の短、融の力を直に見出すことは疑はといが、とかと無形の國際融和への貢献、就中教育的價値は傾めて大であるさ信する、この意味で今度の大管の價値は傾めて大であるさ信する。この意味で今度の大管の成と認った。 大和田理事官、上島城等に割と流いて三浦内務局長、水谷地が課長

縁昭和五年度決算につき説明す

ろあった

た響に思想版に総称か生した窓で 完全にナップに移って了った窓で 完全にナップに移って了った窓で あみなはナップに移って了った窓で あるなはナップに移って了った窓で ツァ加入か決定する事ごなった

うにさへ思はれた。

新るい数の政治家が見られたやごくよい。程にさってはこゝに、これにさってはこゝに

師團編制具體条

軍制調査會で成案中

「東京十一日餐」三長官會議の結 を概本原則さして肺脈内部の撥小 な機本原則さして肺脈内部の撥小 の二方法を其機製の皆子さするも を概本原則さして肺脈内部の撥小 の二方法を其機製の皆子さするも をである、存により平時製 である。 右大般に基き其態薬の作成を熱い の、近くである、存により平時製 の、近くである、存により平時製 の、近くである、存により平時製 のようさするも

でもこれは**國際法の規定に從って在外國民 ~保護せんとするにといま** を記載して戦情取立のために長力を用いんでするやうな意志は有してを移 **としんとするにといま** を加請國に對し国際の軍権を強く要認するに至ってゐる。我アメリカは軍権の整備を調つてゐるけの他の ケロッグ不暇体が 支粉学の如きも侵 職條約は世かの國々に偉大なる効果な及ぼし。 に続て國一政策につき左の短さ放送流戦を行っ 九日後】アメリカ國務長官スチムソン氏は九日 ※を見またロンドン軍者 T 番 つ 1 で 早 の 如 き も 侵略 の 第 一 步 に おい て 早 帆條約は 世 かの 國々に 偉大 なる 効果 を 及ぼ し 露

た機様である、参宗は、孫連仲軍を勧誘すること さに決定し 間心は其後會心にて決定すべしと

軍費難の山西軍 駐屯地方で徴發 縣長等太原に逃込む 通電も汪精衛氏療護を発明

た答事の留守幹部は 観な受取って来るも 出来に集つ が盛に得してゐる。そにへ版果は一般歌。徐述 問題の刺戟からけたこさ、て機敏は張夢良氏が 題、徐述書氏らら歸住することがを整惑したさ さ、徐述書氏らら歸住することが と 選氏から現 出来す 参方面から成行さ注目されてゐる けるの議題 國民會議

は午前九時過離氏語長席に着き際 に次ぎ左の都楽な討論する に次ぎ左の都楽な討論する

連名で反映張通電を登

0

マ親軍の郡天行状記をスツ

兒玉總監進退問題

當分は急轉する

統治上面白か

大天狗だ、長靴でも是非引張りた大天狗だ、長靴でも是非引張りの機能秘書を指して「耳、 一明日はゴルフで ◆…松陽秘書、これにまけないで からね」 見るさきのその愉快さッたら より総整一番天から響ちる鳥っ より総整一番天から響ちる鳥っ

「東京特置十一日程」が 機能の後速問題に関し他かて なる部を採出し様々、吸ん生人で なる部を採出し様々、吸ん生人で 情情を

はます。
 はまするべき見込みである。且つれてるる
 はまするべき見込みである。且つれてるる
 はきます。
 はませばるべき見込みである。且つれてるる
 はきます。
 はませばるべき見込みである。且つれてるる
 はきます。

ら三萬吊まで値上してやらう。 に合せてやら めまうしない

か、長春、吉林では仕方ないか 0

◆…部長「君!一座朝鮮美人か見」 がいて実にせる。 0 よりは酸性であって耐る愉快でも鳥がはつて果れない緩硬打ち

政政強盗や、煙突男を問

中央土地拂下地 解約と善後處置 保證金十二萬圓を沒收し 既納の六十四萬圓を返戻

▲岩 海量師(同賛事) 同上出級 官吏の滅俸に又復司法官スト

がおでも同じ人間だ。 野論によ途 がある、司法官でと勢 ないい

機脈が生きてゐたら泣くだらう。 関艦」ミニふのが出 豆白動車、 温めてはこんど「抽珍聴 佐々木

> 起さず。連用して障害なく何の根本を治癒す。特徴…使用時、嘔氣を催さずその他不快の感を 吸入すれば即座に狭を切り苦痛を去る 注射せば直ぐ發作は消失し平常に復す



小製製

大阪道路町





蛇角



際食い智 滿鐵技術會議



要なかり

満鐵の新定員制は 十四日重役會議で決定 過剰人員は淘汰せぬ 住政策を今日も尚是なりさし、は小知前常務はその執り來り

の立場からするならば、圧光統 場は別である。 國民驚晩新支那。 を はこの ながら 正兆線に 窓みに を へたい、三民主義 能響戦の た政治家が 居ないのださ な人を飲いてある。は その人を続いてゐることはもち けれざもざのやう 三民主義的縁戦の

の時代では 氏の二人 支那の全 日の船間は政治家に

的政組的國民黨が孫文の正統

間に低してこれなりイドトート

政府の前途がごうであらうさも 支那の政界においての彼の地位 支那の政界においての彼の地位 対応がすこさができないであら う思はれる。

、所謂北方政府なるものができ

所謂北方政府なる。

今度の廣東政府で彼さの關係

さしての彼の動かすこさので、政治

軍人以上ではないやう 彼の不徳さ、また無能 は國民政府の二大柱石 らウエリントンや

のために再び機會を奥へるであったのではある な選落してしまつたのではある な選落してしまつたのではある

民、群介福、航天代、研究の政治家が寝されてぬる

民主義な機関することも応 ないこさな映覧化しさいないことないと かれな

まする支那のない資本主義こと はかりでなく、比較状間を中心 でなる、比較状間を中心 はかりでなく、比較状間を中心

を用ひず政治師に繋決するに決し「像器い説線氏処鏡域氏を遊逝し跳皆が顧恥した結果態果問題は動力」 古髪女 第海如同氏等と情人能圖

氏は今週中に継京廣東に向ふ智様に懲らしむる事さなつた張泉宗

現實の要求に對して一方向を與複者でもあるが、今日の支那的

米國務長官スチムソン氏放送 植民地の行政は 内地式ぢや駄目 大連には五年ぶりで來た

在外國民保護に

止まる

リカの海

軍々縮の目的

横山前警保局長談

しよに行つたコースはいが、このコースは

前、保局長楼山助成氏はかれてより共衰して来浦中の溶神線を長水り共衰して来浦中の溶神線を長水に同行の等であつたが課定より選がに同行の等であつたが課定より選がれ十一日入港香港丸で来速した機 曲 大田十年 にが野日の楽画の画巻だったがり行語つてゐるさうだからよく見るつもりでゐるさうだからよく見るつもりでゐるさうだから詳しく見るつもりでゐる、內地の不況ぶりは随 オひごいますくく 悪化してゐる勿論一時は好かつたやうだつたが 間景 瀬 がたつたらしい、

連絡會議に出席

自分は淺層協會さは全然關係はなくたど水野氏の後に随いて南なくたど水野氏の後に随いて南大で行つた方が色々な意味で都合が好いちやないか、大連には

五年ぶり だたしか當時も浪

▲橋川助成氏(前醫保局長) 十一方面出張中の處十一日帰任方面出張中の處十一日帰任

大連出教警日振三と 大連出教警日振三と 大連出教警日振三と 大連出教警日振三と

本津村雅量師(本派本願寺五郷内 ・ 本本願寺新郷本成式 ・ 本本願寺新郷本成式 ・ 本本願寺新郷本成式 ・ 本派本願寺支那関 ・ 本派本願寺支那関 者数名出席の智 月末五日間の世定にて愛媛縣松山内館滿連は荷物事粉れ合會議は五 EP ヒクともせぬのは



か 性政策な今日も (位) と は全然反野な (大きな中心とする (大きな中心とする (大きな中心とする (大きな) で この間種々の (で) で ここで (大き) で ここで (大き) で (大 いふべくかくして大久原の經際とはき、次受さべ、紫つて結局が優して、紫つて結局が優して シガ 食慾增進素 (各国專賣特許) 流行の残法マッチ (美定グロタカ)

業界に 聳ゆるも

9

派遣選手候補者に

ドこらかなネットワークに日本 本第二セットはユ軍害起しスピー よりユ軍ュル日本は巣に残り⊕ 本第三セットも蘇勢を騙つて五對 一本か得た 一本が得た 一本がより上でしたが、日本順く盛 一本ツトオールさし 一本がし三ゲームを集へたのみで

▲第三セットも蘇聯を騙つて五臂セットオールさし

本婦ち 本婦四セットは日本側脳標優影で 本牌ち

派遣を

意表するに至つ

全浦洲の

事行されるが去

満洲選手や推薦

氷滑スピード九名の内七名

冬期國際競技會へ

(日曜火)

実 京野頭 で気が原漢のため

日

=

感情を嚙み殺し

只管恢復を祈る

父の看護に歸朝の途中

大人を 同代十一日入港

→ですか二年程前からの勝実であないでせう私のヨーロッパ行方ないでせう私のヨーロッパ行方ないでせるより仕が要するより仕があゝ多くては手が座はこかられ自分の書では手状座はこかられ自分の書では手が出せません

5十一日入港の

四十萬圓

名を驚けれる片間でつて大きく笑ひながって大きく笑ひなが

でなるのでその足ならとと云つ た機なものです、大連には三日 でなるのでせうさにかく廿三日迄に は簡章しなくてはならないので すかられ私は二月と四月さ七八 月は公休の標なものなので常に この期間に旅行を

世界一周をして見たいこ思ってもます、その前にごちらかってるます、その前にごちらかるまで、その前にごちらかるまではな知らうさ思って来たのの事情を知らうさ思って来たの

現在所有主たる和歌山縣櫻井常之

べ號の所有者

東京十一日**教** 十一日のリーグ 製造場から降り出した際に崇られ

•

BABY BOX 1:11

BABY BOX 163

KOLIBRI 1:4,5

•

グ戦順延

重賓な寫眞スケッチブックでストフキルムで十六枚寫し、 ザイスイコ

チブックです・一十六枚寫し 初歩の方には御誂向の練習用カメラで、玄人の方にも八 イ コ ン 小 型 判 カ メ ラ !!

金四十九圓五十錢也八ケース付

煙突男を空中で診察する

雨で弱つて食事を振らぬ

大連市浪速町

電三七三七、四

四七三八番行

.

• (

心境を語る濱口雄彦氏

月

石原省三(大惠) 木谷傷椎(安東) 池見正信(大惠) 大澤義一(秦天)

○日本スケー

ケー

馬鹿二

梅幸の

歐洲行の足ならしに

はい - 国 オートーー できない - 国 オートーー できない さん は せれは フラリ ご 遊ぶ 連に こて見てもこうなる さ 複之い して見てもこうなる さ 複之い して見てもこうなる さ など してり できない さんじょう は せんじょう は さんじょう は かんしょう は しんしょう は しゅう は かんしょう は しゅう は かんしょう は しゅう は かんしょう は しゅう は しゅん は しゅう は しゅう は しゅう は しゅん は しゅう は しゅん は しゅう は しゅう は しゅん は しゅう は しゅん は しゅん は しゅう

作業の

作業の 方には自信があります。 一是非成功とて見たいこ思 ってぬます、五日関位滞在とま すが今度は潜りな入れる必要は ないこ思ひます【寫眞は左片関 ないこ思ひます【寫眞は左片関

スピード旅行だ……と言ふ

氏名左の如し

フイギュア

かな

事と

國民政府の

五

十四日

十五日

千三日

運動場

中山陵附近に

感

雲艦へ號の金庫引揚げに

潜水王片岡氏來る

から殆ざ世界中のこんな話をドから殆ざ世界中のこんな話をド大正十四年に八坂丸をあげた時

スピ

ることに内定した機能された選手

ト 選抜されることになったがホット報題加盟の諸チーム中より十名

吉野正光(振興) 石 光(振興) 石 田 和 (以上流河)

圏レーキブランシッドで無償され 東京特電十一日銀】大日本水上

を で正金銀行ニューヨーク支店に 「東京十一日要」 港口前省機両子 を してるた戦を対け十三日権選入 を の日を乗で減失を見難ふべく除るが、 関しまでは、 普通の際報ならば が、 関しき交は減減になること

ではいる。 ではい。

受刑者記錄を調査

りなほ際和を得るまで続じて降り りなは際和を得るまで続じて降り りで車談察を得ふこさらなったが の空中談察を得ふこさらなったが

見玉總監の

特別大犠牲二週

大犧牲二週

間

日が暮れたので十一

連地が法院||畑**は**割型 廻附され來る

屋イスヒるぁ用信っ

金屬、麻雀、紫檀細工

專門店

電話ニニ六 の九 街

會

大連市浪速町三丁目

割

弓

马

の日曜で浦十日間の職空記録を作る日曜で浦十日間の職空記録を作り、大学に上つた緑草の日本祭職の日本祭道は十日本祭職の日本祭道は十日本祭職の日本祭道の日本祭道の日本の場合の職が

で後草の田か

願令變造事件の進展に伴び

當局の對策下準備

人知れず
熱源に咽むだので

麻醉劑取締規則

【ザクレップ十日費】デ部隊為ソ ーン不戦一勝総第二回戦日本歌ユ 日本見事に快勝 デ盃歐洲ゾーンユーゴー戦 ースラピア試合第二日ダア

ーフエル組を破り日本は三勝な敗に組織戦の後ククレザイツク、シエ

け三回戦にてエザアトと野戦するとなり先づユーゴースラピアか退

川 地 大一三 シエーフエル

著しく進步した

東三省の競技界 奉天の豫選會を視察した 岡部平太氏歸來談

新術を現て逃へられてゐるがすで「會に選手。 | を表演して逃へられてゐるがすで「會に選手。 | なれる第十興世界オリンピック大 | とれる第十興世界オリンピック大

沙市東京間

横斷飛行

米飛行家發表

社炭鼠のモボさ行連れてボートか 情に十七、八の女単柱風の娘が會 で口頭みつ、水色のジャンパーを がけせンチに上側とたやうな戦

「あなた乗りなる

水に憬がれて

を語る

なら

ふ、四時から五時頃、日曜の 心を吹らしれ

出身にて六人の子女あり、良妻行の答、故夫人は大阪権花女學十二日午後四時常安寺にて葬儀をすれて事をいて、大阪権で大学を持ち、大阪権のできたが、大人は大阪権のできたが、大人の子女あり、良妻がは、大人の子女あり、良妻が、大人の子女あり、良妻が、大人の子女あり、良妻が、大人の子女あり、良妻が、大人の子女あり、良妻が、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女のど、大人の子女あり、良妻をは、大人の子女のど、大人の子女のと、大人の子女のど、大人の子女ない、大人の子女のと、

津田氏夫人市內亞等

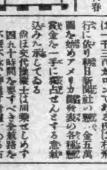
◇家庭養鶏家に急告▷

大連紀伊町八五 電話二一四四五番

い口先から無吐いたかさみれば、一いき、彼女はいたづらつ子らこ

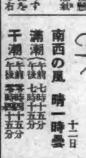
「煙草吸ふの?」 「ちょつされ」

のほ交代機能士は同乗せらめず 数みた形もてるる























常育社・昭和六年会川参汽壹日州 常育社・昭和六年会川参汽壹日州 関内二共傳播ノ伊申出有之度者シ期 関内二共傳播ノ伊申出有之度者シ期 関内二共傳播ノ伊申出有之度者シ期 でのでは、一次のでは、一次のでは、 一下流川版(日本・バーラー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アーラー」 「日本・アー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー」 「日本・アーラー」 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アーラー」 「日本・アーラー 「日本・アー 「日本・アー

雅中乍勝手御通知に代へ此段一時四十分遂に往生の本懐を儀 豫で病氣の處世縁盡きて

邓州購買會常鐵醬 分月四 BA 冬 組組組 四七番 大連 一九 術 鏡嶺 二田 商 會 七 缺補 IV 小倉厚司 募+ュ 紀名名 法政學院

滿日社印刷所 話電

中 中 即 中 即 材料 販 資 係 四 四 四 四 四 二 二 一

本洋行

(1) · W

五月十五日

頭痛じ

吉

日下曲科里院 電話三三九七卷

(可能物便能滑三值)

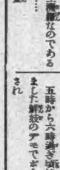
の頭を使ふてゐる、二人奏い

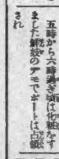
の香にむれて成かに水面にたゆた

歌誌ですれ」

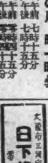
概は十時曜までやつてぬますが、

二人連れの対象様でへえ……これからは十五般のボーー トの小母さんは上機能なのである 都高橋の桜の鉄













日

沙州

满

來

(日曜火)

いかつたこさも、 いめんなに達って

九千

松竹大レヴュウ

い時 優美行場一円

0

精良品

愛

是非此の一罐を、

12-6-8-8-8-8-8-8

五

月

0

子 9 世 界 さみどり

電話って

科科兒小

切

1

い問題の上に

家の一人でありながら、春冬の一ちの様な悪い奴はありません。

幸校

居ります」 これであるとこれである。

の上に乗ってゐることは

願者ださも假さも思ってる別りませぬ。子供のこさで て居れて観の鳥、大門からし物らね。十歳つの歳から 來ないので何

日よりの

新名番組

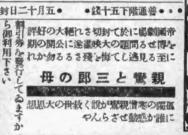
F.55 至於四四人

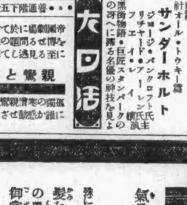
減主・子三喜光・吉祐田岩・夫輝利毛・子弘崎川 の子女婦の下天滿やるれき 概率に紙関新知報度一

四 切封の第ンラムー本的對絕しび浴心學の味識狂熱 演主・介之龍ド月 記・平 太 國 南 ● 作原氏五十三木直 記・平 太 國 南 ● 作原氏五十三木直 記・平 太 國 南 ● 経来の奪中るせ達に極呉打禁・ 港連開新日毎阪大 演主・子純原・蘭英川吉・男海泥尾横副映現小ロエ 銭 よやいやちじ 著 興 え ね 参 ● 脚行ロエの人二スロドマ者多典とりあロエに々淺

六段解說

• • 切封日二十月五 • 常 評好の大絶れさ切封て於に楊劇國帝 期の開公に途滅映大の題間るせ博な れか勿るるさ残で悔ても逃見る至に 想思大の世教く説が繁親情寒の獨孤





3



大連市大山通り河建町角 滿書堂文房具部 電話四九九 四四三〇六



BS.1.

五

一段田龍員に連れられて」

た。そとて二三日とてから、八丈 でで行つたのです。静ケ島のだった。一度艦を南のだへ矢のやうに

愈十二日限

長五段▲齋藤銀火郎・売五段▲齋藤銀火郎

育兒之友 進呈

ケ島の神を大題りして北へ北へさ

供心にごうなるか

6-A-3

映畵館の

勞資共營

不景氣の影響

さうです。道手の來ることは初め北ル探したからいけなかつたのだ

五の替出が

戰 兵心

年

六 和

「はい、五十里、郷の彼方の島で

夜だったから知れません

曲眞瀬が持つて行つたので

失敗に続つてゐる、然しながら今事東京館で行われたがこれさても

任性の正しく强き では質明なる

愛育意識

な場合が多い様である、昨夏く凌いであってお居は従業時間に不利

勢資共同網際は理想形な網幣が増加したことであ

朝

かなる 發

江戸のがだらう、さば

(可認時便認得三事)

流

14

修

60

辻 占 竇 (六) 「八丈島さいへば、強い違い他の

えてゐる。その時は深の上は暗かったであらうか」 ったであらうか」

続失してしまつてあることに無が さで、七つの夜光の珠のうち三つ

儘

達介

新で整然者の経緯不振から復製した。昨今全員的に常設館の運営が、 昨今全員的に常設館の運営が といいである。それにこの不認

を 東行成域はまだし 東行成域はまだし

五月十一日は十四日

現代大悲劇般才福西ジョーシ監督 学 園 に・泣 く 女 一教にて五人迄演用、川島奈美子主演 一教にて五人迄演用、一人を演用、一人を演用。 数く程良く効きます 水むしに

3

10

最高荷物要 其他支那吳服を 対ちりめん、麻魚 がンス、羽ニー 店服哭公荥德 **掛九九三 七語電** 栈公荥德 地斯二十七町速浪

私は半年前より神經痛を病み二回注射しましたが一向良くなりません
り思はしくなく痛みは全を強く右股の肉と骨にか一向良くなりません
しながら炎を續げて居りました處知人から風軍家の良難を招きました。
ので早速成みました不思議に痛みは傾くなり其夜良く眠れました。で 見後一週回連服しまとた慮知人から風軍家の良難を聞きました。で りまとした右の如き会快者はまた際山知りますが二三に止めて含きます。 のまと一つまと一週間連服しなか神經病が登れて切りました。で りました右の如き会快者はまた際山和りますが二三に止めて含きます。 のまとした日のから、一方はかました。で り渡も可ご日分五十級) 四川司事

毛







うの 種 は もろごも 吞込み申候

削経流力强殊特新量

松下商店京都出受新

おり

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGC !TD

一五

燕店 番番

便益多

5

0

で

發達

高人側よりかた

月賦販賣の話

社長に安達氏説が依然有力

今夕までに解決

合理的に大運送会社を經費す

日

再開

理事長に瀨之口氏 七、八日頃には公布されるもれるもれると、八日頃には公布されるもれば、京城十一日登】朝経城北所 取引所 十七、八日ごろ

れてゐるが、内地の取引的

をします。そこて完全を現金 特に基いて月賦販資物がを結んで 時に基いて月賦販資物がを結んで で回収します。 で回収します。 「「 ・ ちれてぬる調査機関に、その客の ・ をその他な調査報告するやうに依 かるのとの。 ・ ちれてぬる調査機関に、その客の。 いらずわけです。

の態度が完一笑話では「ンストルメント、セリ 領人はれ、そ 保から、月賦でなくて運転でして や 一番盛んに め正確にいへば外國のは選給の関 自 手駆脱離が が多いさいはれら位です (念のた と

無君か巡へるさ

きます、さころで月賦が込を意うの手織きでピアノル手に入れ、次

は百萬明単位割合はパーセント)

6才、你つて速熱委員會を開き級の歌師あれるであらうさ 決定のため當局の誤解を得るに至、の承諾を得更めて報告したので、 更順に出頭して安財無際につき陳、の承諾を得更めて報告したので、 の承諾を得更めて報告したので、 でので、你つて速熱委員會を開き級。 でので、你つて速熱委員會を開き級。 でので、你つて速熱委員會を開き級。 五日ごろ

に人事が針をさ 大勢上

を持ぐるに至るもう。 を持ぐるに至るもう。 を持ぐるに至るもう。 を持ぐるに至るもう。 を持ぐるに至るもう。 を持ぐるに至るもう。

する大型は微素値の形上げた られ、肚のではないかっ観られてあるが が、変表され、清洲特産物中の大 然でも大豆園桜の電像による影響。 がの登表については密楽者は勿論 れたのではないかっ観られてある がの登表については密楽者は勿論 れたのではないかっ観られてある がの登表については密楽者は勿論 れたのではないかっ 観られてある がの登表については密楽者は勿論 れたのではないかっ 観られてある があること、てその間の誤解が得ら 水のではないかっ 観られてある 本のではないかっ 観られてある 本のではないかっ 観られてある 歴史をみないこさは飲りにウマ過・ 大豆に繋ずる砂証枚率が何等の も大豆に繋ずる砂証枚率が何等の リの変まし、しか

私合では十一日輕滿鐵廠で おいて大連郡諸総騎寺記やは部での大連郡諸総騎寺記やは部 あるまい

市小河歌に大数紙工場を新設する金五百萬元を以て徹米遊れ有限公金五百萬元を以て徹米遊れ有限公本職

これをいくつかの際階に分けて、 これないくつかり 25年 大陸によって特意の際質力が分るのでによって特意の際質力が分るので

保

當市保

0 一日から之を實 出標が引上げた 保政府は今度は 上げた では 大政府は今度は

◇定

七四一開五七四一開五七四六開一



等形文換(十一日) 全 空校 「三天」開発園 相

替

寄店所个

雜高豆大 被樂粕豆 埠頭 着 特產 數

20 大連市山縣地, 沿線各地の沖用命は 運 國 輸 際 部険保

朝鮮運合問題の **入團圓近**

產糖制限 將來大した影響なし

0)

砂糖は関係などである。今後一般に世界産糖練院金融の結果、五年間 嗣する三菱酸事支店

10,000枚 10,000枚 枚

世界産精制限協定の大利は成立 世界産精制限協定の大利は成立 したが、その細則はこれから職 したが、その細則はこれから職 したが、その細則はこれから職 したが、その細則はこれから職 したが、その細則はこれがら職 はないことはないこ思ふ、な したしたことはないこ思ふ、な したしたことはないこ思ふ、な したしたことはないこ思ふ、な により、相當い價 を維持する により、相當い何 を維持する により、相當い何 を維持する により、相當い何 と 自給自足の程度にある國は石協 正隆銀行が

合北樂佐、同佐三、 新順 木本

土建協會 水道料引下 五、000枚

か

香政府は國貨提唱の意味で該 南滿瓦斯

滿洲關係重要

税率調査を依頼

支那新輸出税則の發表で

重要物産組合から滿鐵へ

廿九日開催

麻袋 産地情報は尚十六分の一 原会銀八分の一安偽著同事ご嗣保合 安銀八分の一安偽著同事ご嗣保合 であた、「一一大会会」 であた、「一一大会会」 であた、「一一大会会」 であた、「一一大会会」 であた、「一一大会会」 であた、「一一大会会」 であた。「一一大会会」 であた。 できな、 であた。 できな、 できな できな、 できな できなな できな できな できな でな できな でな でな でな でな でな で

綿糸髪らず

八區の大豆 ツサル 一様の を発め、八日九十八後五里 が明してルビー を発め、八日九十八後五里 が明してルビー が開始を整へた、 は活額を整へた、 は活額を整へた、

の製紙工場 支那側で新設

★ 土曜日の米橋市況は ・ リヴァアールよりの 情報が身いのと實需筋の買り 物が出た鳥の関散ながら殴り で入報ありもも本結局共物イ を口橋も六十銭高と原棉市況は を開始を下地株安下地株安下地 を開始を下地株安下地様安下 とは響ろ強氣的であつたがスチール株安下地株安下地株安下地 を開きなかったがスチールを と結局は質勢から來た相場で な行人氣作用にあやつられた に過ぎなかったこれからそれ な訂正する段取りさならう

滿水 家話 五八一六番 電話 五八一六番 テ

今睡左の通り人事の異誠を信ひ障の職を生じ静ちであつたに鑑み

のつもりでしても既

(四)

黨政派超越

に關

す

3

連商議

對案成

・ 復買の方法は總督府令又は業権・制さすること、同一取引所権・制さすること、同一取引所権・制がすること、同一取引所

庶務保主任 腰山 一雄

兼宿舍保主任 兼宿舍保主任

主任平川金一郎

福昌華工

開催決議と三米

動の

陣容を一新

博・制さするこさ、同一取引 信は取引所其の責を貧はす信 で、實質取引の違約による損率

近く篠崎書記長が携へて上京

題してゐたが、同氏與談後は大小 海路したさが在職中は右兩課長た兼れて切りの赞同を得ることは既称、作業の二課に分れ小住幣粉 右会議招集につき、総略が、作業の二課に分れ小住幣粉 右会議招集につき、 英米兩回政府 地では、 ときに、 とをに、 とをに、

川崎冷酷は四月 一で、00000 後内地野 駅からなる人間の標準 調ぎるも入艦の標準

東氷錢新

1158

表 I 言 I 三無三無

氨 将(保合)

二十五圓十錢

五十圓二十錢

當期· 保合)

は直にその旨内地 ってあるので

存 計 二三 D枚 二二〇枚 二二〇枚 二二〇枚

四平街 (七月川限 100 18 110

- 六一一八番

中度 無技 物 直積 云南比台 新 直積 云南比台 分 新 直積 云南比台 分

行 京畿丸 五月太日 京畿丸 五月太日 京畿丸 五月太日

况(十) 出

産

辨金六萬餘圓也 官商筋賣らず

料なく大豆は依然質問が要放にすれまれて発調を示される場所の手に多く取引も賑ひた。年間一直五百箱の手合があり京橋とは一種では銀貨の小機のも平傳ひて六十年に、大豆は依然質問が要放にすれません。

問題化の

情新 (140) 100 (140)

大阪邦米 大阪邦米 東京期米

三三三米三

東京株式 東新 11次0 11次0 東 6 11次0 11210 東 6 11次0 1210

大阪棉花 大阪棉花 學習 新大 引

入連市伊勢町(日本橋南語

西岡茂次郎本店

電話 八〇九七番

險

関東魔第一級主任技術者 提原勇能

オフセツ

ギンク

·活版 • 石版

電話七三六九四

大連市俱馬町五二

電話六二八七番

車

らコナで目演しを りに足をごらすや

ははは

スモカ獨り白い 近寄るべからず 喰らふやら

を戦かせて

部に向はせられ同十一時十五分から晴れの海州儀か撃げられた【寫真は御目出式を撃げさせられた、この日鎌黒姫には午前十一時十分李王家を自動車で仰出伯將家當主武志氏との御機儀は入日麹町區水田町の同伯家において殿か

滿洲

闘する

既得權や絕對維持

わが當局成行を注目

- 二日本會議に上程

收

度た説明したが、王正廷氏は一さまる六日重光代理公使より王正廷氏に最後的其監索が記し日本の態

三、訴訟問題 日本のみ特別接は出來ない、刑事訴訟問題

いるも他の地域は絶對不可てあだけは短期間小範圍の除外を認

張學良氏風邪

日支法權交渉に暗影

日

宣言文

の内容

幸校

+

國民會議代表强硬に

会議に関する契確解氏の約一時間に聖る流説があった、蔣介花氏は 連列して九時五十分頃出端したが 連列して九時五十分頃出端したが

『商京十一日登』委員附記さなつ

日露漁業條約改訂

交涉開始訓令

委員會を

お報は僅か二、三十萬間に過ぎ ない、即ち新に局を設くれば勘 くも十五萬國な要し版正による 思給増加等を機算すれば徐出版 は上記の如く勘くこの少金額の は上記の如くあくこの少金額の が理な陰出するために拓務者な 際正するは暴論である。

市營住宅家賃の

滿鐵定期昇給

滯納と善後處置

市當局は規則制定の意無し

五ケ年計畫案

中に不平等條約撤贓宣言の草葉を中に不平等條約撤贓宣言の草葉を

正正底氏に記して類りに終騰を敢 中に不平等條約膨緩で説の軽素を取

論であるが、一面東支の郷峡駅 を原因は、世界的不況に伴ふ輸 送貨物の大減少に依るこさは勿 送貨物の大減少に依るこさは勿

〈現金交□及び軍川輸送数〉 職への融通金

百萬金留さ見積つたが、後算質成に際して何等對策を講ざす、成に際して何等對策を講ざす、成に際して何等對策を講ざす、

佐つて危地な脱せんさもつとあい。 東支は今や選まさ乍ら模本的

登版五ケ年世 製造したまた上海 展業代表 表映音生氏等六十四名提出の農業

R施すべと 最勝な軽減する故凍かにこ 関係を軽減する故凍かにこ

不況に盛する對策な時代

るが既に手選れで病膏膏に入った感がないでもない。

法案の修正を主張

特に主席の權限縮小に關して

昭

手臂の不撓、日く財産の

置行し、他に 以て経

に至る五ケ年間の純金金越分を試みに一九二五年から二九年

さして報ざらるト所に依頼道の財政権に関して最

経営が禍ひす 過去の無謀な

(版內市)

東支の

財政難

社

說

小平等條約廢棄

大 し全國代表季就は解談に修正を主。さ此政部長の機の総が通過するものに決定し國民政府主席の機関総が、軍事關係にて國民政府主席の機関とれたの。即ち客院長、智能長を政府主席の機関総が、軍事關係にて國民政府主席の機関とれたの目的のある感も関かに登成され、管正を持着も多成めり根常有力さを企かが決中に明記せよき選続に固定が有多がのある感も関かに登成され、関連を対しては地域又は機があるが今度の倉跡代表型出帯、を設定せんさするもの等あつてその。続し又財政に関しては地域又は機があるから見て大幡政府認案が通過するものと見らる。

結局政府案通過か 第~やと知れず日本職と野成の色

我最後的具體案工

剣もほろ

育職訟念週で孫機理の遺敷と國民 「南京特體十一日襲」本日の國民 三月二十一日立法院通過の新鹽 本會職は江無代表職知的点提出の 三月二十一日立法院通過の新鹽 本會職は江無代表職知的点提出の 「西京下一日衰」本日の國民會議

五ヶ年計畫

農業を開設

れるものと観られるれつとある称戦は二人の協議の相

特電十一日發一貴族院公正 洋漁業問題 公正會意見一致

廢止せよは暴論 拓務當局の反對理由

少金額の捻出に

参省な夢よら得るさしても年節 【東京十一日養】東校では今回職一郎を欧正も従来の理事、監事各四間はに照して最も襲緊がである。 雨も巻も拓 (東京十一日養) 東拓の 職 制文正 (大・村民地穂面様は一萬九千三 東拓の職 制文正 (大・村民地穂面様は一萬九千三 東拓の職 制文正

實物廣告展

五月二十八日から十四日間 本社三階廣間及講堂で開催

灌滿洲

全満各地の小賣店を總動員

高紀 道 涉

後は配々本日源野な院館と其際の 最は配々本日源野な院館と其際の 最近の機構が見え出して来た帝政 では、本日源野な院館と其際歴 では、本日源野な院館と、本日源野な では、本日源野な では、本日の、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日の、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日源野な では、本日の、本日の では、本日の では

金融狀態

日銀帳尻

くく共和派と観楽ル楽と単陸の出 が見るさ云ふ騒ぎで市中は帰き 返つてぬる、彼いて共和派の肩を 接つ群衆の一味が帝政派機関紙ア

があつた【奉天電話】 闘奉木村滿鐡理事と會見交 渉開始すと通知府に日支鐡道會議 其他の報告を終り 今週末東北変通委員會への報に高紀毅氏は中央政 殺氏今週末歸奉 村滿鐵理事と會見 と聞られないさ傷へられてゐたも 態度に影響され参加を見合せるや

スペイン また動搖

「代表さして参列すべく報どら 新憲法を献定すべき憲法勝官職員」これシデイ・マイ博士がトルコ 『マドリツド十日巻』スペインの 氏語にはトルコ外根チユクイツ 「マドリツド十日巻』スペインの 氏語 法 削定 できせい とり接触状が 気能した。 歴に

滿紡工場の

帳簿を檢查

勸銀重役選舉

十一日午前十時より臨時機會を開 業銀行法改正に伴ふ定款變更の、不動産抵當證券法實施並に勸さ左の性を可決した 員に關する件、理事候

七七五不後

・ 大引・ 大引</

九三〇〇

×100

藤鶴三郎、岡田信の三氏は創在す 原名・田登 二十一日総合を 「東京十一日登」二十一日総合を

常市駅 教 では見送った。

東新弱含み 式 九六〇〇 九六〇〇 九六〇〇

况(十一日) 七八二五

株

市

▲哈僧演大豆 - 0二七五 - 0二〇〇 - 0八三〇 - 0八三〇

本社 参観 十一日午後台島 ・ 加連引率の旅順第一以常高等小學

在國東縣 等局技手 國東 海縣局技手 山 口 勝

標金强含

鈔票變らず

當市變

麻谷變らず

策の関東殿さ同様で記述が関東殿さ同様ではれることに決定したが観査館は 一課技井上綾太郎氏以下馬渡、富宝 一課技井上綾太郎氏以下馬渡、富宝 一課技井上綾太郎氏以下馬渡、富宝 一課技井上綾太郎氏以下馬渡、富宝

不不滿七七七七鐘製不不一不入

○現物後編(銀址)
○現物後編(銀址)
○現物後編(銀址)
○現物後編(銀址)
○ 現物後編(銀址)
○ 日来高 六十甲
曹鴻大豆 出來不申
日 油 出來不申
日 油 出來不申
日 出來高 二萬四千枚
日 出來高 二萬四千枚
日 出來高 二萬四千枚

ニニニニニニー 後 四四六八九九一号引 〇八八一〇〇〇

本會談に上程するに決した。その 四、各國の支那における郵便電信 一、治外法構即時徹底 五、完全なる關稅自主權の獲得 六、各國の財文軍隊橫廠 六、各國の財文軍隊橫廠 大、各國の財文軍隊橫廠 職の反驳論監左の起こ とてこれを受容れて再交送の餘地 なきまでの日吻を洩らした。支那 、 特殊地域問題 上海であるに不純で不一等終約階段は不可能であるならざれば関及は不可能であるならざれば関及は不可能であるならざれば関及は不可能である。 特殊地域問題 妥協成立說 陳兩氏間に

へ出來的さ嘘いてゐるさ 『南京十一日巻』駅早良氏は総分 ・『南京十一日巻』駅早良氏は総分 ・『西京十一日巻』駅早良氏は総分 ・『西京十一日巻』駅早良氏は総分 ・『西京十一日巻』駅早良氏は総分

議土國參加か

傳へられる條件

四、宋子文、邵ガ子、陳杲夫、楊四、宋子文、邵ガ子、陳東省政府主席です。清原を討放す、清原を討放す。

民食譲後に摔敲されるであらう

は九日本食師にて銀行を対するとの見解に際個された関際融製食師所大会 ため本年内に関際食職製食師所大会 ため本年内に関際食職対象の似る ため本年内に関際食職対象の似る に帰るこを観び英国が食跡に際低さ に帰るこを観び英国が食跡に変形でき は、一般であるとの見解れ掛つ。

様であるが我政府また会議の とり我園に提齢がか来めて来 より我園に提齢がか来めて来

安協は宣傳か

的解注策成功も暗雲も一掃さると

度面の反射態度はいまく明瞭に、上海特體十一日整一般型、廣東

銀對策國際

日英とも

王唱を逡巡

反蔣軍の作戦

【イスタンプール十日發】今回ト

では百年河深を作っに等されるまでは百年河深を作ってきる。 一治経常忠長がたなった様子」は 一治経常忠長がたなった様子」は 一治経常忠長がたなった様子」は 一次では立るまでは百年河深を作っ」さ でのことが物らない 本新興民國の が平し政治家・軍人の職分が翻燃

◆定期後場(単位核)

「一時半 医20 11次20 1元表 11次

だな物語りました。 オーツカの酔ひに、 オーツカの酔ひに、

ので

うに次のやうなこされ縁返した

卅三株の行方

職つてしまひました。 何さ云つてか、何時の間にか二人抱き合つて

ンチ状の山砂の砂点は支那の破壁 の上の赤白 (大型) の大型 (大型) の上の赤白 (大型) の状態 (大型) の大型 (大型

佐二郎

動か蔵ふて飛んで行き

八文字に開かれた媛門の中に其 の二人が馬を並べて堂々さ人媛と

一ででした。 一ででは、一般の人の必然は、この三大神い し、場を並べていは、山の鍵から、の し、場を並べていは、山の鍵から、の は、場合ができる際なく調査 では、この三大神い

此の夜、松

 (Ξ)

の支那の関戦の心の庭は形態の恐らくマドリートフの為めには

破験のから

ロシャ軍の天幕の

地の誰の意味を消録を介

馬賊の

馬賊の二人の美少

大清の三人是である。 大清の三人是である。 三漂ル祀ったものである。 ***

Fi 效

太清宮と三清観

8

忠

道する道士敷

か悪れ、時至るを待つ 対待時来、太公に演似

支那

(四)南工界に重認ある者の中よ の四人以内 の三)単識経験ある者三人以内 ふ事になった、程は其際在補 立)民間株主中より三人以内 り四人以内

電話に進二年合でありを悟で有が炭を満ご趣旨の徹底さ日有が炭を満ご趣旨の徹底さ日 さしては政府の感念さか級に信いて立家せらるべきであって、程にでいませらるべきであって、程に立てなって、程にないませらるべきであって、程にないません。 吹返する事さなつたのである

をおすの所に行って、太極いないでは、かう云ふ話がある。 を大手がの数に子牙を計つた時、 楽天王外九士が、妖術を現て十級 でかれく、之を見た太難山赤橋子 て八卦ル持ら、地融が悪鬼手に機がの一枝を握る、人機は整通冠星の人態機である。八卦は周の時定められると云ひ、数次医型異境分かられると云ひ、数次医型異境分析の一枝を握る、人機は整通冠星の大きない。

しい太つた好が、館かだへて 粥を啜ってゐる。 出頭けて行く変がある

本佐さん。あなたは千九百二年の二月の離まだき、遠郊の珍客。 () コード・フナ陛下の世界。 () マー・フ なさ 載んだ様の他のかいて 振り飛ばさい 機の遊みが、帶の ばされさうだ。 際がり掘まつて

が、の眼に選入つてるないのに根異ないの。 ・の眼に選入つてるないのに根異ない。 ・の眼に選入つてるないのに根異ない。 ・の眼に選入つてるないのに根異ない。 ばれまったのだ。 成は义、萬か

ルは生であらず たのであらう

不用 新古 美濃町七九番 大 谷 商 店 電話三九一四番

貸衣 雲 刀劍

古着 古道具高個貿人 電六八四一番 計関町渡過商人 電六八四一番

雪字 速成教授

皮軟糖性病病病

フョ

牛乳

◇出進海外初員座場劇田神京東◇ 伎舞歌大題名京東 にり振方外

の日四十三日三十折る當 第四所作事 新歌舞伎十八番の南 第二 實 第三 辨天小僧旗松中村歌扇十八番 绿 先代 紅

葉

狩貨順連中

坂東竹十郎 開 開 開 開 別 祭 別 扇 都竹長唄 餘名

二一特 等等等 觀 ---二劇

優の 村 歌 扇

萩引 臨

第一回御目見得狂言《十三日》

女本

座

名日

可葉膏市職變 店商野吉 各六八一古皇

五町部敷達大 番六つ六元番 ▲主婦の 7

生步御 友 別指七帶七錦銘帶夕

店服臭やすびる 毎〇三一話電

各學校御指定諸官衙御用 服附屬品些釦類

電洋 服店

ルの変がない。 対応関いた。そこ (48)畫作 演紅の血潮 女給 五六名至急入用 三拾鉄場

通四階建大連案内計

白夜の

街の魔術

女事 女中 際景天滿屋ホテル電七一五五 等電三六七八番

家政 解附派婦 野藤衛二本テ 監部通九六電四三○八 英學會
大文 成英語個人及クラス教授 世話 会演述に金融 会演述に金融 会演述に金融 を買述に金融 チチ 電の

骨傷 病ハリ、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番

蔘精

お宅で 修繕

蓄音器 大第直ちに参上致します

重富醫院

電話七五二八番

濟生醫院 電話 セハ六七

是非御

試用あれ

丙

亭

旅

花代申受

御酒席に限り

引越荷造 海喀亚法 通關代辨 大連市武蔵町七

二丁目裏通り 日露洋行始めました電七六八五 堂里風呂崎 方は、あんぶく

は御來堂下さい 補む御方は

近山京森田神経町 全年町地 今末・1つまで 地でなった。 ムラ 11 サービ

增田貨物自動車運送部 電話七三七〇番

VZ 日案内

西铁圆铁链

建築

商通三五電車通四階大連案內社 等 動業債券覆買並に金融

滿鐵幹部恒

保持の提唱、希望

恒久性保持の機關

西馬場の改悪

内以行十五 迎款書投 すらさは傷中

根本主旨さし

吾

自動車に組む

者にして現に宜職にわり渡線域、理事長、社長た

にも飲った無感の 何處へ行った?

る 「おい新市街にやつてくれ!ハル 別」「おい新市街にやつてくれ!ハル 別よく通りかいつた湖ものタク かか拾かさ、伴! 座席に飛び乗つ

大

と南北に買いてゐる遺路の際止

大服の前瀬のに

あつた!

利がから

別分ある。 活い鳥打帽を 跨って映るのさ同じで

てか、一向奏記者なく、門が、此願は、趙ឋ神の建計

ひがあるさ云ふので、撃に重役性 大要以上であるが、之は繰りに執

總理大臣、大統長一人

ないが、私の希望は探

内各二人以内

語で寛駒で、音が進。 で寛駒で、音が進き 手に白馬を捧げる。財神の前に

住宅

各種

柳花遊覧六六五〇

モミ

下室賃冊四間櫻花臺| 器電三人

クサ

劇場隣根本藥局電六七八二

電話八二〇三番

電話六六八八番へ

貸家

水便の設備あり

貸間

貸家

貨家

LINEVEGOH"

血液が、愛す

の屍體を同志

白帆 此印に限る

本社販賣部本社販賣部 (本間二一三一四十六七

大連市大山通・小大連市大山通・小大連市大山通・小

の御用命は

\$6

眼を、周圍の

天帆

此印に限る

算盤の御用命は

商店

トマトマト優良苗分譲州本以上東 メリヤス工場電話二一六四青木 メリヤス工場電話二一六四青木 が販菓高價買逐網紙中本以上東 が販菓高價買逐網紙の一六四百香木 電路四五七一 電路四五七一

大連沙河口大正通八五 三共商會 大連沙河口大正通八五 三共商會 譲分を 傳家

事一六一六表代語電

外の服洋紗羅

域比衡な設値さ物品

-----店商の等吾 たしまめ始た貨雜諸を寄立御度

> 仕ジ定 立尺服 服験地ル側ル紗仙側 く抜を地頭一然嶄

所

水蛭販賣旅順市乃木町三丁目

話四 = •葉 食養程を工工

(十四 山城鎮

アマチユア

0

高見

滿洲寫生行

召集と記念講流を催したが帝国主意部に於て無効委員各機關代表を

礼春祭

幸校

日

五九記念日

奉天醫大分院

てきる

知く決定し十七日朝必勝を期し有強速で都天側の遠征選手は左 「井、廣瀬)一分三十九

鴨綠江

管流狀態は良好

直營材も近く初筏

木材需要調查

李敷は繋がある答で一層版はひた 大弓、武道・煙火、海敷脈直等の 大弓、武道・煙火、海敷脈直等の

十日日曜日の人出

ら既に二丁流い

銀安で患者漸減

の雑貨線輸入展別は概容活動か見 の雑貨線輸入展別は概容活動か見 の報貨線輸入展別は概容活動か見

品の立場からは ほかない事情で 5日本産総本中な二級100万円

長春經由影 を潜む まさいなってかり七萬七千圓の後 が野中で流鏡も院に承認を興へたも のい短くであるから戦繁公人間も がしているがら戦繁公人間も があるから戦争公人間も があるから戦争公人間も があるから戦争公人間も があるから戦争公人間も があるから戦争公人間も があるからが、 憲兵隊記念日

北滿向輸入品心 支那鐵道を經

工大記念日

種目其他決定

際限に於て際限っ佛際で共に変功の平街守佛際第五大隊第一中隊は 関東軍司令官の開時が関のなめ新

一現に関係に放て行い来れる混保 ものにして夫が背め昨秋よりは吉 を開放り来の地域となって居ると 教歌歌より教学校に逃留遺知した 日より二十日添十一日間南京中央 音が 対に於て開催する事になった 間・ 税数 育 郷に通販があったので 全國運動大會 して居るに つき関資 起場である、シ町の登城に築む可きで着し之れがの機會である、シ町の登城に変む可きで着し之れがの機會である、シ町の登域を限止する者ある。 か其主意は最近外間は観に具織 松人に同貨愛用な言葉してなる な人に同貨愛用な言葉してなる

二百十二件であるがその中最も 町のニユース

に足らない▲小 養力口

私通し同人さ同

內鄉歌等的

心中沙汰

快癒を俟て召喚

内縁の

滅多斬り

兵事傑より九日それんく交附され

本年度の召集

五

六

は父宮殿下について實験がはえる流河事情の一端が見な伊悲かなころ殿下にはずまられてころ殿下にはずまられてころ殿下にはがあるの一端がある。

實戰談を御聽取

流陽御視察の国院若宮殿下

政史に現れな

十日午後國際グラウンドで舉行

豫選

天

表さし苦塩火を吐く糖糖を掘つた。

邦商の移轉

風地へ

晴れの奉天代表決る

所り齢長しながちその前日になって、 大 ごは 批丁さして 能語 道 献 であって この様に 地の 第一線に あって この様に 地の 第一線に あって この 報 し 彼及 する さころ 大 なる しの がある が まっといふので 脱重なる 歳分に出づる などは 脱丁 今後の 士楽に あった る こいふので 脱重なる 歳分に出づ 驛の案内係り

新た一概を客車物の窓内係には公衆電報助扱がを事業の窓内係室内に就客車物の窓内をでは、 がこの窓内係室内に就務することが解めて場合してゐる でこつては既る不便で前瞬長時代 でこつては既る不便で前瞬長時代 でこっては既る不便で前瞬長時代 ですることが解めて必く旅客 を後は瞬内に就る不便で前瞬長時代 が全度の高潔職長時代 が一般が極めて歌外をれたかったが今度の高潔職長時代

であり標、歌、歴似の 名あり標、歌、歴似の 名ありに、一部部日花柳 の名のた、一部部日花柳 領事館の建築 損害査定終る

一時的※エミグラントの観さ終う ではれた暗鏡湾も、本況の波に統 を職首ついき、失業者二萬人たこ す積機で競技の地を乗めて哈蘭湾 を取れ、日本蝦事館の鑑査によるこ 一月以来四月後、南支に落のびた 九二六九六八

特になる外皮溝に工資十八萬元三 / 特になる外皮溝に工資十八萬元三 / 東京 (1 年) 中の (1 外皮溝に碼頭

日の日

はないか、どうしようではないかない。はないか、どうしようではないか。 された能し合つて居た新進無鋭の 前金州民政製長、現役夢事動管標 所で清漁艇祭の土を踏むさまふ暖 が機間に解けるや恰も恋父兄弟を が機間に解けるや恰も恋父兄弟を の在信者だ目下歓迎替なやら に居るのが金州

にて赴速の答

四、〇四九圓一二、六八三

が、 一中 手は二百米、走中が、園鉱物、樹 一手は二百米、走中が、園鉱物、樹 一手は二百米、走中が、風鉱物、樹 の四種目の二段さなつた 三百八十個を減らし全たくの不知 三百八十個を減らし全たくの不知

日 居住届か提出した者 会員に於てプログラムか作成 委員に於てプログラムか作成

の管民有法は連索を を貼して本間照明のな を貼して本間照明のな を貼して本間照明のな

の 一般等数被索を繋は三千五百六十七の 一般等数被索を繋ば三千五百六十七

の辰雄

さ出掛け人里睡れた観聴気分か満 前十時から龍土塘水源地へ御花見 ので見れた

黄金臺

次男諄君三十日出生 次男諄君三十日出生

追

徴兵忌避ごして告發

準の胸部か

野球後援言では十一日午後四時よりヤマトホテルに放て四和五年度 樂部後援言では十一日午後四時よ 2 清州電無監舎主他を発店の製地製 (本店中村繁小、長春地方事務 「電氣協會養陽桑、脇坂正之、満 電氣協會養陽桑、脇坂正之、満 電本店中村繁小、長春地方事務 祭田正、長春高女山本芳智 苗木を分譲

低披露の襲を張る

午後六時より変襲機に長春在住官

校長東一郎、長春高等女學校長江一時業校披露 長春融紫學

安住の地を求め ピン

流れゆく露人娘達 をないさ 巻ないさ

附屬地内の営 原 ・ 事はが検見も直に満观警院に運び 感急手管を施したが巡に午前五時 の理論した

吉長鐵路整理

■中(五〇)は八日死亡

不況に追詰られ

邦商の破産續出

舊舗續々ごして閉店

明 合の相撲にメ一股の人頭が呼んで 撒水車に轢る

歌小野王契の二姓王小野(こ)がおり 歌小野王契の二姓王小野(こ)がおり 特史がら来た市役所搬水車に小野で要する標準像が近年にから来た市役所搬水車にから 本職にされた敷及布足へ治療十日 で要する標準像が近日町時代 というない。 0

である気が振りに名の知れた一 である気が振りに名の知れた一行 中村歌談一行の蘇陽は恋々十三 御めてた

第電に 本、影響的動車の打響を製

金

焼寸工場操業

ては選手を準備して参加でも

指班等是按二

百 九

理想のお婿さん

(18)

観せれば費むるにあらぬ友なりき鴻邁へて二人まむかふ

健康・品行方正・包容力のある人

三浦文子さんのお父様の理想

つの婿さん資格

(五)

度主三次製造氏の語……助出されたおよりを記三次製造氏の語……助出されたおより

日にかけ

マーナ 銀 奴:の職、 片がは紫灰の解・現はに数が線を順がり続に入ってるる質け激験に聴がり続に入ってるる質が表がない。 ままらも近日稿制の戦

◇商賣も

つた私夫の

にけ合理的に無駄の

ややありて話さ

こざれつ此の室のもごまに関けり海なりの音 も疑るか言の葉のおちつき給ふ君さ語るも

、子供の要求する儘に奥へるの具させるにしても時間を定めて奥

るべく問食させわやう。

時は金なり 家庭消費經濟 について

てるさいふこさは一家 主婦さ しいのであります。よく「いな部のと指すのですが、金の方能に指すのですが、金 が関さいふのは主さして の労働が貨幣によって機能 は遠い昔から謂ひ を望むのは、時間で勢力い方面と

な計會に飛び出るやうになってか を対すに飛び出るやうになってか を対すに飛び出るやうになってか

伊親の野元にお

就學後の記に心事で

日常生活の大変館であります。こ

くてむしろけちんばさか守るくやうなのがありますが、

あからや會 神場磨須子

みから世間の影理しおつき合

降下にうちあぐるらし小夜更けて海なりの音問近に聞こゆ タぐれ早き裏山に盛りの櫻真白なりけり へべや音が友のかたみのしようる掛けて出にけり

際の不可なのは然証 ざんなに

温すれば自然

五月祭り

にこの注意を忘れてはなりませつ買ふにも総一様をふにも不職 五月まつりは唄の頃でうつらの五月ぢやないか

村岡樂童氏作曲

五月まつりは乙女のまつり 花で飾つて歌うさふて たんご踊らうよ踊らんせ たん、踊らうよ踊らんせ たん、踊らうよ踊らんせ たん、踊らうよ踊らんせ 大人に動くする間との歌のリ ズムにわばせて屋上に踊る中華 女子技態學校の生徒

兒童生活の轉機

今が最も大切な

だても一日の時間部、一週間の た立てるやうに、時間の消費に は消費に就いて毎月毎年の康算 でありまから一家の主婦れる者

内に於ても内地より遊かに主婦から無放された土地様で、窓底

ためなのです。 が論同じ色全でもためなのです。 が難同じ色全でも

手の人気も

度が達ふこさは普通艦人も經敏す

天下を早春

生活への第一歩 #他一○二、暗黄色一四○、 を対しついて見ますさ を対していて見ますさ 他一五二、紅色一六〇、M.色一九八 黒色二〇八 市九八、フランネル一〇二、類

母の懐から規則的

もに一つの規律に育てられて行く ソルは多少着色とたものゝ方がい 〇…從つて暑中は温度の吸収度の少い自色の衣服が涼しいわけでの少い自色の衣服が涼しいわけで 寒い日には黒や鼠色のものが適當 しパラソルなどは白

國民を生む

らである。母胎が健会 れて来る國民も亦使全

王効のいたののなり、一番ののいたののできる。

變り御飯 辨當向きの 味から女子スポーツの全続はまこ

あつて、原民の農産増進といよこ かいよことは実は末の末の配題で がいよことは実は末の末の配題で ばならない。オリムピック大質にとに関致すべき事柄と言はなけれ

ち、食事時間なが少くりあげても

の時であります。者とお一歩々々歌めてゆかなけ

充分に興へないて

はならない ルに向って繁進してこそスポ 質とかは第二の問題とし がたい情情な進といる



٤

りました。「使れないこと」…… りました。「使れないこと」…… これが私の祕訳だったのです。一 記載れるといふごとは別価の中に 受別家といふだ思明が出来ること ですから、この老時間がだん~ に関り~~つて来れば自然肉質も 足です。ですから、いつ らへないことが

一部別にも何故だか慰此が判らない 一部別に困ってしまひます。何しろ私 性料もいって 関ませんので、新述 ころが、近頃になってや

元

伊豐 町角

は上くファンの方やから

してまたどうしてそんなに

と…か茶でかい

好きで種古して

だいます。そして何か特の主とが御座います。そして何か特のことが御座います。そして何か特のな事を飲んで匿るのだらうとか

もらった衝撃と同じなんで、

その度に別に特殊の事も特別な化

7 チ 2

日

丸

號

ユ 2

(五十六)

次

ミルト、

7

サタルツ

その日のうちに回復せよ

なかつた光景である。歌 日間の風に値を受して日間の風に値を受して「日間の風に値を受けてしまって野球型」のこのに色分けしてしまって野球型」の表情らしく、宮武戦手の大きない。 知の早度野球戦に至っ ーツに無比する有様は

佐つて

安眠をも助けるのでその日の接受を回復するのみならず。

は必らずその夜の睡眠中に回復し

型費の外費用は絶對に要らぬ様に成つて居ります 大連市吉野町七一 大連市吉野町七一

典一門司大連間論り乗船券差上ます。

日

振替(大連)一七五八番電話七九七四番

理想的である。「鈴布」は歌に記して物質せらる」「鈴布」が最も

いふ心掛けが肝質である。それに 即ち座野に借りをこしらへないと

の必須養

十月五年六

なくなります。繋び日に日に進 動一可量も殴らなかく 見出せ 新聞に目を通すこさも、日刊経

他事の日割な無駄にせず、そ 多よく、勢力を無駄にせず、そ して飲欲の時間は自己の修養、

日焦け

を

避けるには

までがスポとの出来な

衣服は白にし て洋傘は色物

新知識の吸収に力むべきださる。研究に充て、時代に後れぬやう

れ、勝角反撃校などで覧へた智

和

賣業 野球團を組織

選手の

て我間の高少年の健康が増進される結果となることとで、これによっ の間に熾烈になって來たといふこ が観者の層をひそめさせる結果 った。……然し、それは 喜ぶべき地歌と言はなければなら が遊成せられる所以で、まことに が変成せられる所以で、まことに と素人の進出は實に目ざましいも 政はラグピーにマラソンに 時主人が會社の執務の废れが出た

はことが出来る。が、それと同時に最近に於ける女史のスポーツ界での進出は更に~ (職質すべき事 が表現日本の特殊は、全く光 つて観えられた青少年の活 始内のいたみも同のこり もサッパリと もサッパリと 簡易療法!! 目に何の触りもない動が、非常にでは使でも繰り返して限ひても効き では絶えずかゝしたことが御座いて非常によく効きますので、近頃 響解、私の乳のコリなどにも用ひひましたので、それ以後は子供の 配所的だと思ひます。

*社 沒透理和華房 理念な戦け方をしました。然し、 N中華との試合の時に足を軽いて 使は8中學の柔道の選手ですが

のです。そのうちにだん~~

車に乗って唇ましたが、その晩下

さらに思ったので、そのまと自動

されない。飲みも必要なり仕事なりを放棄してまったいることは時に ポークによる疲労に就いていある。それはス 物らず、特響はスポーツが専門であるとに たと、ことに一つ社意したけれ を買ってくれました。早速家へ替 かって かって さいてして何かいと美はないかと いる でかってくれました。 「大帝」といる 美して おりませんので、痛みも直ぐと が見速僕の足へ何だか思い衝撃を が見速性の足へ何だか思い衝撃を まり、性いたところも関もなく治 りました。その後弟が調が病んで けてみると、 って弟に貼ってやらうと思って開 いつかB君に貼って 田舎の母がよく同がコルと言って 田舎の母がよく同がコルと言って 三日で沿って今ではこの通りピン てくれましたが、それを貼ると二 て來る く楽はないと言つて、 んが心配して「妙布」を買って來 れるやうに言って來ましたの それで下宿のお内候さ

九三一

一年人氣を博せる

ツシア蓄音器新型

もつと送っ

すが、然し人間として生きて唇るとの出来る管はありません。森 ことの出来る管はありません。森 ことの出来る管はありません。森 ことの出来る管はありません。森 ては送つてやって用ます。 もしなければなりません。

位本側樣客御對絕

大派 し込はどんなに無理をした。まで待ち響さないといふ主義なのです。老無難が出来でもそれなのです。それは一下をしてをかないのです。ですからこんなにいっも割りしくて置られるのです。またをでいっち割りしくて置られるのです。またものでは、これに関係している。またものでは、またりのでは、またものでは、またりのでは、またりのでは、またものでは、またりのでは、またりのでは、またものでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのではでは、またりのでは、またりので の日の取れはその日のうち

徽周四同奉河岡同同進中

獎弘阿平金小東中甲山 曾本泰久海川原 蘭玄時 保 政 計样祥商商商 矣商 會堂店行行行店堂會

水 その日の疲勞は 7 の心 得 (11)

が少しづゝたまつて來ると、歌に 特集の厭悩となつて來る。からな 特集の厭悩となつて來る。からな

のためにはじめたスポーツが解棄 のためにはじめたスポーツ・マンは必ら それ故に、スポーツ・マンは必ら それ故に、スポーツ・マンは必ら である。 ではなってしまふからである ではなってしまいからである。

一葉技化をさへ種力排撃すべきであっ キン化の如きは勿論、スポーツの 雪るまでそれら\ 電話でそれら\ りが主でスポーツは能でなければ 変労を考えるものである。 ものはその性質上至身にかなりの 疲勞を 完全に回復

してをかないと受日の勉學なり 歡喜を頒 新針な、腹やかな無符で活動出来 野なんかスッカリぶれてしまった 野なんがな、カカリぶれてしまった る元氣を異へてくれる妙薬である

して唇たので御座いますが、或る人が肩のコリ腰の痛みなどに常用 私方では一家そろつて「妙布」 した。僕はその時間はず「妙布」間もなくケロリを沿つてしまひま なら直ぐに関係も沿るだらうと思 直域を叫びました。 つて弟の類ッペたへ貼つてやると

惠比須町。話六四九六番連鎖商店荷電二七十三二番連鎖商店荷電二七十三二番連鎖商店荷電二七十三二番

憑込

後援

大

連

聞

く切いて直ぐに変れを忘れてしま 時ふと試みましたところ、大般よ した。といふのは、まだ手ばなした。とないよのは、まだ手ばなしま ない頃のことでしたが、危い足を 踏みしめながら即符を切って居ま その時は別に大したことでもなさ でそのはずみに私はよろめいて膝 がをいやといふほど打ちました。 今でこそ私も一人前の女単等で

筑體

筑電話六四番

館

海 大石橋 電話五二五番 大石橋 電話五二五番 大石橋 電話六六八四番 大石橋 電話六六八四番 大石橋 電話二八番 山 商 會 大石橋 電話二八番 山 河 洋 行 白 川 洋 行 白 川 洋 行 三 川 洋 行 三 川 洋 行 下 市 古 川 洋 行 下 市 古 川 洋 行 下 市 古 川 洋 行 下 市 古 川 洋 行 下 市 古 川 洋 行 下 市 古 川 洋 行 下 市 市 古 上 井 內 商 店 支 店

店

館

店

館 店

元 氣 洋 行 案 服 。

電話 (組)エニニー六番

共事ジズ 数水學作の務シボ練兵生業 他服 ニン服服服服

一般のうちならそれを回復することは勿論で

が少しづいたまつて來ると、記に世界のうちならそれを回復するこ

ケ遊出園人

府入

湯募集四組

| 博多各所、(雲仙行きは『際で) |洞門、阿蘇登山、栃木温泉、熊

正公、水前寺公園、太宰府、 上陸、耶馬溪、羅漢寺、青の 昭和六年六月三日(中込

覽 團募集[4個]



實滿兩選手の練習振り

きのふ振す

テ盃歐洲リー

日

李校

4

を表現した。 の野学に動か行はれたが第二日は 数果、地理、第三日は注謝、邀接 の所で施行される智

本年度 試験委員及び裏山、小様、非上谷 せん」と係真な数点せもめてゐる とれてゐたに反し前回よりは百餘 十五百九十八職人員で四萬七百八 大も歩く帰ざ学數に減つた、第一 十二名の減少に満して 丁ごこまで 十二名の減少に満して 丁ごこまで

合日程

を経験がで六十四度機関数七萬五 三千六百三十一個人最六萬一千八 三千六百三十一個人最六萬一千八 一四名これを前月同日に比較する 中四名これを前月同日に比較する

檢疫船數減少

ることゝなつた、實に滿洲野球界の動神能記録さなり一層野球ノアンを熱狂せるむることであらう社員集合の上第二回線議會を朦朧した評写意と本年度より出回数を以て野覇とては小便さの提案に動き同様とり本社機と會議室に大連質なりその後属軍さも根本計場家に動き職を対での結果、十一日午後一時より本社機と會議室に大連質能上本社は本年度より五回戦を以て野覇とては小便さの提案に動き両軍さも研究の上侵害することに都定所職際際に関し去月上観すでに兩軍關係者集合の上第一回線議會を開催機会協議することのおり 那定動戦闘傑に願し去月ー領すでに兩軍關係者集合の上第一回総議會を開催極々総議するこころわり見都六大學並に都市野流野球大會ここもに日本戒界の視聴を集める本社主作の大連賞※原鉄湯為俱樂

00000 六月廿二日(月曜日)満俱珠場に於て 六月廿一日(日曜日)實業球場に於て六月二十日(土曜日)満俱球場に於て 六月十四日(日曜日)實業球場に於て 六月十三日(土曜日)満俱球場に於て

こ、なり着と戦闘。であるがお、戦智に関しては迫つて衰衰の響である。

契約を更新しつ・民間の住宅を借

か大連及い概名地で一定期間毎に 物館い社有社宅数の不足を確ふた

注目されてゐる

[1]千二百冊一戶(內大連四百七

へ事課では最近の一般物質の概

日本警官一

関では朝鮮、豪港、満洲 を験倫をなら居を者」さあるので我 が式は「直に戦酷役跡に称り得る が式は「直に戦略役跡に称り得る が式は「直に戦略役跡に称り得る の範圍に 軍縮委員會の決定

家式さが傾して歌低一物が至二物既に大連に然ても滅業公計其他の

戦場下かなさらり5 毎に家主さ交渉して代用社会の

局これに関する線跡が開始される 一でフィンランドに勝国に入るので ごくこれ等 谷驚さ グルスにエデアトは二 ペルギーは九日シングルスに 下要要を間接に支持するものでは ものもあるが一般情楽人の家養値 ものもあるが一般情楽人の家養値 を表現したでは既に変数を際始せる を表現したが、と

赤い灯さ青い灯の渦巻く夜の大連

ルランド野南阿の勝者 てこの代用社会の家賃値下運動は一カフェー

案外少 一四一がルマンラクロア

榮ある開所式

加

仰ぎ

式アイロン無料 一年型の調髪 流理髪店

郵便物を北極で投函

ルキンス大尉が

普文試驗 半數に減少

提く - 天息陛下の職等を仰ぎ 帯大航空研究所では十一日午後 帯大航空研究所では十一日午後

受けるせ便殿に入御女根以下に

帝大航空研究所完成 衛に子供の館費りや老人一とくなくなつたが、今手に三味機能に子供の館費りや老人一とくなくなつたが、今手に三味機能に子供の調整く夜の大連一の出占費りが出選する事は先づ殺 十二研究室の御郷歌を終へさせ十二研究室の御郷歌を見たしいなくて二時代に取る られ 陸下には御照深げに御機 く午後四時間負罪送裡に

日夕デト 布御見物後特別列車に召され十 肥剛殿下には九日ナイアガラ湯 高松宮兩殿下

コアで縁起がなって

の名でそれぞれ探岸駅を養し約二の名でそれぞれ探岸駅を乗して必能費 人の衛生保健を標榜してゐる關衛生保健調査會なご設計し全演 観は昨年來より観案中の社會一 其性能が法がこの食器に育な如何に進めるかさい

間出席しては終かっ 高標電線課長までが一週に一時 高標電線課長までが一週に一時 いて演奏するさいふ熱心振りだ 中から十六畿ま 車撃を採用する に日本人の少年

記販賣店兹に謹告致します

最近色々な噂がありますから下

一ケ月壹圓廿錢也

ラヂオ専用

定價 九十八四

滿洲日報購讀料金

おへきせられますが子供でも内 変に歌しても覧に変面目で熱心 な要求か持つてるます、假さい な要求か持つてるます、假さい れば能々世に出て百メーセント

B

帝可河三埠左西市憲大 巻 〇 一回 五 話電

中等を察ばして約一時間で終った したが十四壁の少年とは思ばれり はど項に奏曲した、景後に陸軍行 はど項に奏曲した、景後に陸軍行 を開発した。景後に陸軍行 を開発した。景後に陸軍行 を開発した。景後に陸軍行 西島街火事

會議決定 今夏奉天で

確の全國性育主事會議院催り定の 能の全國性育主事會議院催り定の であるが、感々 を は野戦の短くであるが、感々 係 馬車で負傷 通行禁止 ヤードの工事に 地頭北門 満銀においては 小川家不幸

大連署高等

内地及植民地の巡査志調者は本意教行の巡査委成議義録にて合格必要行の巡査委成議義録にて合格必要な場談職に到妻無代進星す東京集関助二の三五



ツトス動自一ターモ氣電

價 定

则五十九百



村立購買會當鐵番號 中三抽藏入結果左配之運工會鐵住餐也 第十九回第五次(各組共通) 四九番 六七番 七九番 八九番 九二番 近 江 洋

國産乳菓 美味滋養 (衆用配割)

木琴の天才岩井少年の演奏

岩井少年の

大連第一中學で十一日午 木琴演奏

中教行の自邸に於て執行することを職性に十二日午後三時職里要総験

連中の木琴の鬼が

二人組强盗

石灰窟五〇島業鮮文養(*o)方へ出午後十一時ごろ金州大魏家屯

界各國

酒

類

食

料品

郷地の東定で温線の標音があった。 十河理事母堂

大英和縣特無

8 各地名 400 産

(世界一の維度や記) スールジョ(海野の情報) スールジョ(海野の情報) スールジョ(海野の情報) スールジョ(海野の情報) スースコ(海野の情報) 0 6

店

谷澤ラ 中島ラチオサービス

外山ラ

ふのは触り

田中 殿がです、日本物では正宗 の著へでは食鳥氏や武者小路氏等のものが では食鳥氏の創作は支那 人には殴りよくわかるまいさ思 開校 日本糖ですか、外回糖です。 第一个は観響糖や盛のやうだ。。 だ範囲では除りいと物はないや ネタになる支那の「大岡政談」 常に多いのだが所謂。唐細橋の ものは概識多く課されてあるや

の大脚政践さら云ふべきもの

好きちやないのですが……誰ん

大権支那の新文學は大して

ものには極概の機能物で云 仮物さなるさ山口

さ励して取って 非常 かはなく 海山 はんない

↑ さめ、選集と云ふよりも識がれてあるまいか、つまり総館のではあるまいか、つまり総館のではあるまいか、つまり総館のではあるまいか。つまり総館のではあるまいか。つまり総館のではあるまいか。

日本小説の飜譯

8

作のない場合も非常に多いで、支那の此の他のかが

がはなきへついてゐるものがあ

大庭 しかしいくら攻蛇な詐欺手のですか。 総縁送他がいかに正ていか を知らせるだけのものではない

潮日舍關新聞店

以出來ます。 以出來ます。 日本に制のなる原一調整に依り各選距離局共自由に分離 の引きばくイナミックに依る驚く可き強大なる肉弾ラの引きす。

ーに依り少しの機械的雑省なく強大なる肉壁な電泉著音機さしては完全なる自動ストップ付電

太耶新

店店店

新

店

山崎運送店新聞部

無代進品

御申込み次第戦明書

構満が九さいふ物で内地直輸入だが合格者は内地出身が二十六 考へさせられますが子供でも内でしていまった。 した鳥の高等小學本業が大部分少年重業の懸録者は年齢を納限

本日抽銭の結果左記の美リ会最任義と 第三回第三次 地十二年

十六十

各組共通

丸三吳服店

帝王の煙草 煙草の覇

満鐵代用社宅の

家賃を引下

全滿的に交渉を開

〇〇里岩四段(崩線-)佐藤四段 (胴々-)佐藤四段 ○○小島四段(南線東京支) 縮めてゐるが、 なやつて

法界屋が跋扈

工

客に不愉快な思をさして

押賣りして廻はる

體育主事の

查

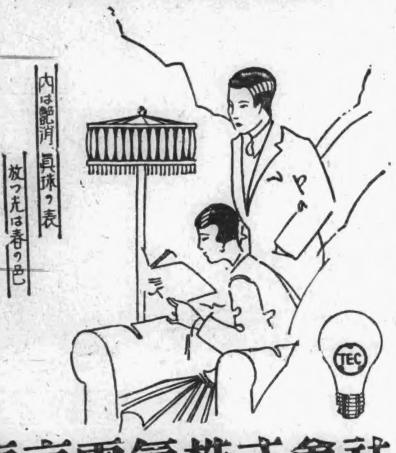
株式名義書換停止公告を対する大大大名義書換を作して 南滿洲鐵道株式會社





真实古皮深蕴社会或徐 二可修道茨人

そちよく明るく電気がお徳な経済電球









專賣店 大理店 大連話 市

天 然 堂 一

黑

屋

大道四个八部四四部大 電話穴で五二番



東のきいた 家見と装飾は 連市伊勢町大二 **蒙互業所**

は、其合量不定なる内外肝油の五 は、其合量不定なる内外肝油の五 は、其合量不定なる内外肝油の五 は、其合量不定なる内外肝油の五

0 一〇二 海肝厚加

帝國發明協會優等實受領際東京傳統會優長國產賞牌第一回 化學工業傳統會金牌 を著しく増大し、而も費用僅少の理想的滋養强壯料。 「別を起さず連續飲用に最適 臭味少く胃腸を勞せず、下 臭味少く胃腸を勞せず、下 「別を起きず連續飲用に最適 「別を起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 「別で起きず連續飲用に最適 津に同 厚朋 111



之れ かき 先 决 問 題 1:

1]

頭

毛染

○全國各欒店にあり 新小君が代を設置致しましたゼヒ御愛用を乞ふ

毛髪美粧料に ●対が代の特長◆ ●対が代の特長◆ ・対対の不要、毛質をいためず、汞く保つ、糖枕を持さずくせ 上り、フツクラしたお髪上げが出來ますヨリ美しい自然のまゝの艶やかな黒髪に染 君が代

店商吉山鰡本 ₩○至八★等二八八二章演節電 ※二七三九一京東哲擬

一間十五乃至十二四月 乃至十